

ナルシマ・カスタマー・ミーティング

ナルシマの家に住むお客様同士で 共感の輪が広がっています

ナルシマの家で感じる自然体の心地よさは、同じ家に住むからこそ共感できるもの。ご家族と一緒に過ごす暮らしの豊かさについて、3組の皆様にもムクのイエにご来場いただき、語り合っていました。



H様ご家族は、ご夫婦とワンちゃん2匹の賑やかな暮らし。無垢材の床や梁など木の風合いと、広い土間がお気に入りです。



総勢7人という大家族のS様。お子さまと過ごす時間を大切にしたいという思いで、間仕切りのない大空間の家を実現しました。



若いご夫婦と猫ちゃん2匹が暮らすY様。キッチンや間取りへのこだわりなど、すべて猫ちゃんあっての家づくりでした。

いつまでも心に残るナルシマとの家づくり

S 様 地元発行のフリーペーパーの広告でナルシマさんを知り、ホームページで職人さんの写真が載っているのを見て好感が持てました。初めて来社した時にお会いしたのは現在の会長さんです。家づくりの想いを一生懸命話してくれて、こういう人が経営者なら安心だと思って、お任せすることにしました。



H 様 ウチも同じフリーペーパーで実施していた空き家セミナーに参加して、ナルシマさんを知りました。本当は空き家になった実家をリフォームするつもりだったのですが、里山のモデルハウスが気に入って、新築することに決めました。

Y 様 私の主人の実家が建て替えるつもりでハウスメーカーに決めていたのですが、あまり満足していないようだったのでナルシマさんに相談しました。最初は主人と義父で進めていたのですが、話し合っているうちに、実家ではなく私たちの家を新築する方が良いということで上手くまとまりました。



H 様 家づくりを始めると、色々な問題が出てきます。ナルシマさんは家を建てるだけでなく、リフォームや空き家の売却まで対応してくれます。こちらの悩みを真剣に考えて解決策を提案してくれるので、皆が納得できる家づくりができるんですね。

S 様 確かにウチも、会長さんや山森さんが親身になって相談に乗ってくれたおかげで、家族7人が幸せに暮らせる家になりました。

H 様 設計の細かいことも聞いてくれるし、毎回打ち合わせが楽しかったです。家が完成して、もう打ち合わせも無いのかと思うと寂しくなりました(笑)。



S 様 あ、わかります。ウチもそうでした(笑)。

将来が楽しくなるのもナルシマの家の魅力

H 様 年末の寒い時期に引っ越したので、1階と2階のエアコン2台で本当に暖かいというのは驚きました。

S 様 ウチもエアコン2台で夏も冬も快適ですよ。家族が多いので室内で洗濯物が十分乾くのは、家事が楽になって助かっています。

《座談会を終えて》



ナルシマとずっと話したいと言っていたのは、とても嬉しいことです。家づくりをきっかけに生まれたご縁を大切に、皆様と一緒に地域を盛り上げていきたいと、改めて思いました(だいけい)。



それぞれの物語があることを改めて実感しました。大変だったことも今は笑い話。ナルシマを選んだご縁を大切に、皆様と一緒に地域を盛り上げていきたいと、改めて思いました(だいけい)。



いつも素敵なお客様とのご縁をいただいで、元気もらっています。お客様同士がもっとつながって、共感の輪が広がっていくと、なんだかすごいことになりそうで、楽しくなります(あいざわ)。



お話が終わった後は、テンションで楽しくお食事をいただきました。H様、S様、Y様、ありがとうございました!



ナルシマの家で暮らす

ひなかさんの気持ちいい毎日

◀ひなかさん/ナルシマの家5年目のOB施主兼在宅ライター。夫、かんちゃん(小5男子)、なのちゃん(小2女子)の4人暮らし。

4月に行われた新社屋お披露目会&ミニ感謝祭のレポートを書きました。こちらからご覧ください。



誰かに会えるモデルハウス「ムクのイエ」

この3年間半、ナルシマさんのお仕事はほぼリモートでした。この5月からライティングのお仕事の関係で、大敬社長と定期的にムクのイエで打ち合わせをしています。ちょうど梅雨に入ったタイミングで、毎回お天気はじめじめ…。でもムクのイエの扉を開けた瞬間、さわやかな空気に包まれます。

その理由は、家の性能が高いからだけではありません。毎回笑顔で迎えてくれる相澤さん。4月から事務のお仕事を始めた大敬社長夫人の美希さんとのちょっとしたマターク。入って1秒で笑顔になれるんです。

先日は玄関横スペースで敬司会長と久美子専務が打ち合わせの真っ最中。お打ち合わせ相手の方が、私と同業の方ということもあり、気さくに紹介してくださいました。ムクのイエの開放的なスペースに、集まる人々のオープンマインドがプラスされて、いいご縁がつながっていく予感がします。

またあるときは、大敬社長と話している横で、『FINE PLACE』の矢野編集長がこの下の「職人紹介」の記事の取材・撮影を始めました。時間や場所を決めて待ち

合わせしなくても、ムクのイエに行けばナルシマにかかわる誰かに会えるのが嬉しいです。

私がかつくりの打ち合わせをしていたのは、旧本社のガラス窓の部屋(今のムクのみせ)でした。「ナルシマの家が本当に快適なのか説得力がない!」と生意気なことを言って、前のモデルハウスや会長のご自宅、先輩施主のおうちなど実際の家を体感しに行ったことを思い出します。

これから家を建てる方は、ムクのイエに来れば快適な性能はもちろん、吹き抜けの規模感や窓のイメージ、無垢材の板材のパリエーションなどを実際に見ながら打ち合わせができるんですね。羨まします!

ちなみに我が家はこれから子ども部屋を仕切るにあたって、2階にある家具を見てイメージをふくらませています。実際に子どもに使ってもらって大きさが体感できるのも嬉しいです。

これからどどんムクのイエから生まれるであろう化学反応。わたしもワクワクしています。



偶然お会いしたみなさんと。笑いが絶えません。



職人紹介 Shokunin File

松戸市出身。19歳でとび職人の会社に入社し、24歳でその会社を引き継いで独立。当時は基礎のほか足場や外構も請負い、鉄骨造の建築工事にも関わっていたそう。成島敬司会長がまだ会社勤めをしていた頃からの付き合いという、大ベテランです。

とび職人は本来高所作業を得意としていましたが、江戸時代には大工職人と一緒に家や寺社、橋などをつくり、火消しまで行う重要な役割を担っていました。とび職人が基礎工事も行い、お祭りなど地域の行事に深く関わっているのは、そうした由来があります。斉藤さんもその伝統を受け継ぐ職人の一人。ナルシマと同様、家守りとして正確・丁寧な仕事を貫き、地域の厚い信頼を得ています。



■ 本社ムクのイエの基礎も美しい仕上がり。



■ 綺麗に並んだアンカーボルトが丁寧な仕事の証。



■ 地元のお祭りや行事にも参加して貢献。

有限会社 斉藤 博司 (68)

Shokunin File.13
Hiroshi Saito

若い頃は出初式で梯子乗りもしました。木遣りは、頼まればいつでも披露しますよ!

※木遣りはとび職人に伝わるもの。上棟式や結納式などお祝い事で披露されます。

MUKU
ムクのイエ
見学会開催!

■ 予約制です
8/26(土)

時間は
① 9:00 ~ ② 11:00 ~
③ 13:00 ~ ④ 15:00 ~
ご予約の際、コメント欄にご希望の日にと時間を記入ください

真夏の今こそ、ナルシマの家のさらっとした空気の違いを体感してみませんか。毎晩寝苦しい、電気代が大変…、そんな悩みのある方は、ぜひご参加ください。

ご予約はこちらから!



はみだし
サポート

2022年秋、ジャパンホームショー「握りごち居ごち展デザインコンテスト2022」に出展したドアハンドルが「仕口賞」をいただき、そのトロフィーが届きました。作品はムクのイエのトイレのドアに設置したので、トロフィーもトイレの中に。ご使用になった際にじっくりご覧くださいね。(あいざわ)

